

2023年10月12日
株式会社日本政策金融公庫**食に関して「健康」を志向する人は果物の購入率が高い**

< 消費者動向調査（令和5年7月調査）特別調査：果物の購入について >

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）農林水産事業は、「消費者動向調査（令和5年7月調査）」を実施し、特別調査として、果物の購入についての調査結果を紹介します。

調査結果のポイントは以下のとおりです。

○購入率が最も高い果物は家庭用では「バナナ」、贈答用では「メロン」

最近1年間で購入した果物について、家庭用では「バナナ」（66.8%）と「りんご」（61.9%）を購入したとする回答割合が6割を超え、「果物は購入しない」の割合は約2割（18.8%）となりました。贈答用では「メロン」（11.0%）や「さくらんぼ」（8.0%）を購入したとする割合が高くなった一方で、「果物は購入しない」とする割合が約7割（67.9%）となりました。

○「健康志向」の回答者は果物（家庭用）の購入率が高い

食に関する志向に関して、回答上位となった「経済性志向」「健康志向」「簡便化志向」の回答者別に、果物（家庭用）の購入状況をみると、すべての果物において「健康志向」の回答者の購入率が最も高くなりました。また、「果物は購入しない」と回答した割合も「健康志向」の回答者が14.1%と最も低くなりました。

○家庭用の購入理由は「美味しい」「手頃な価格」「季節感や旬を楽しめる」が上位

家庭用の果物について、購入した理由を尋ねたところ、「美味しい」「手頃な価格」「季節感や旬を楽しめる」などが上位となりました。最も購入されているバナナは、「手頃な価格」（37.2%）をはじめ、5つの購入理由で最も高くなりました。

○贈答用の購入地域別では地域の特産の果物の購入率が高い傾向

贈答用の果物について、回答者の居住する地域別に分析したところ、北海道の「メロン」（18.5%）、東北の「さくらんぼ」（13.2%）「りんご」（17.6%）、九州・沖縄の「マンゴー」（10.2%）、中国の「梨」（9.6%）、四国の「みかん」（8.9%）など、その地域の特産である果物の購入率が高い傾向となりました。

■詳細は、添付のレポートをご参照ください。

消費者動向調査(令和5年7月)

～果物の購入について～

～目次～

I. 最近1年間で購入した果物(家庭用・贈答用)	P 3
II. 最近1年間で購入した果物(家庭用、年代別)	P 4
III. 最近1年間で購入した果物(家庭用、子どもとの同居有無別)	P 5
IV. 最近1年間で購入した果物(家庭用、3大志向別)	P 6
参考:食に関する志向	P 7
V. 果物を購入した理由(家庭用)	P 8
VI. 最近1年間で購入した果物(贈答用、年代別)	P 9
VII. 最近1年間で購入した果物(贈答用、地域別)	P 10

○調査概要

- 調査時期: 令和5年7月
- 調査方法: インターネット調査
- 調査対象: 全国の20歳代～70歳代の男女2,000人(男女各1,000人)
※インターネット調査であるため、回答者はインターネット利用者に限られる。

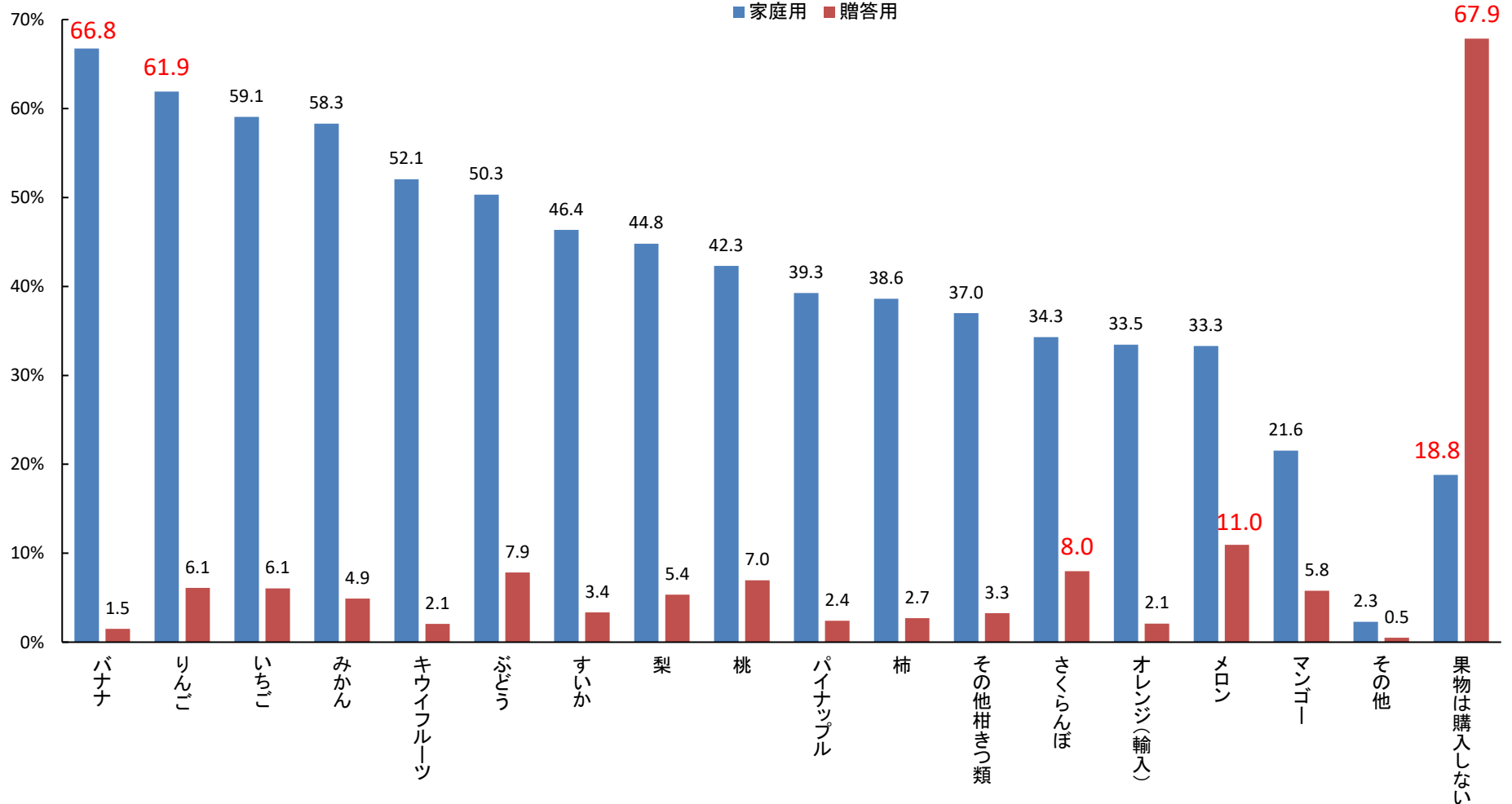
<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 農林水産事業本部 情報企画部(担当:黒川、米山)TEL:03-3270-5585
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

I. 最近1年間で購入した果物(家庭用・贈答用)

- ・最近1年間で購入した果物について家庭用と贈答用に分けて聞いたところ、家庭用では「バナナ」(66.8%)と「りんご」(61.9%)を購入したとする回答割合が6割を超えた一方で、約2割(18.8%)が「(家庭用の)果物は購入しない」と回答した。
- ・贈答用では「メロン」(11.0%)や「さくらんぼ」(8.0%)を購入したとする回答割合が高かったが、約7割(67.9%)は「(贈答用の)果物は購入しない」と回答した。

(複数回答)



Ⅱ. 最近1年間で購入した果物(家庭用、年代別)

- ・最近1年間で購入した果物(家庭用)について年代別にみると、「購入あり」とした割合は70代が最も高く、おおむね年代が低くなるほど割合が低くなる傾向となった。
- ・「購入あり」と回答した中でどの果物を購入したかについては、20代を除くすべての年代で「バナナ」が最も高くなった。20代は「りんご」が最も高くなった。
- ・上位5項目以外も含め、すべての果物において最も購入割合が高いのは70代、次いで60代であり、最も低いのは20代となった。

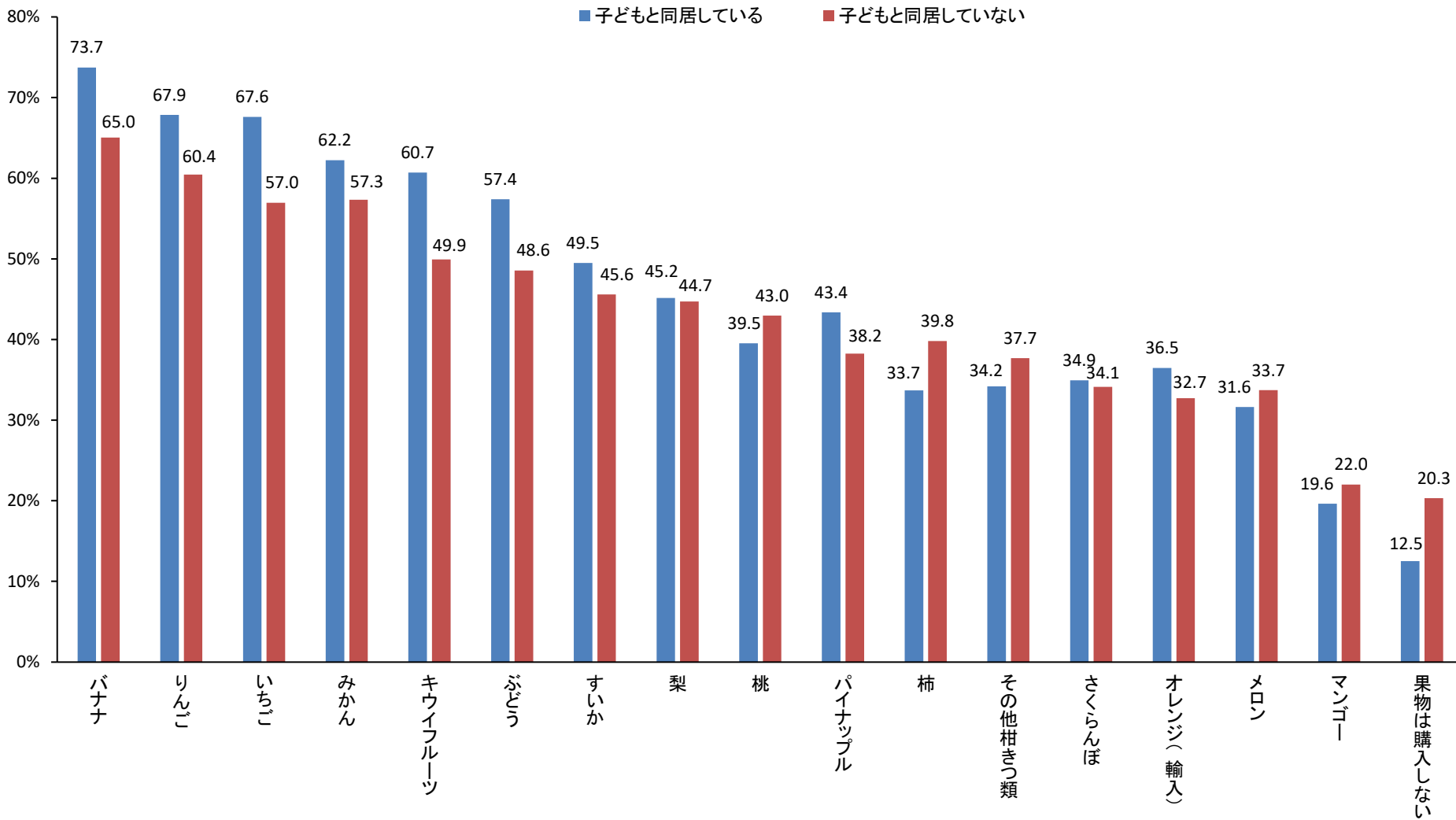
(複数回答)

年代	購入なし	購入あり	1位		2位		3位		4位		5位	
全体	18.8%	81.2%	バナナ	66.8%	りんご	61.9%	いちご	59.1%	みかん	58.3%	キウイフルーツ	52.1%
20代	35.3%	64.7%	りんご	67.2%	バナナ	65.0%	みかん	54.4%	いちご	51.7%	キウイフルーツ	46.1%
30代	25.4%	74.6%	バナナ	78.6%	りんご	69.1%	いちご	68.2%	キウイフルーツ	64.1%	みかん	59.1%
40代	19.5%	80.5%	バナナ	80.4%	いちご	71.8%	りんご	70.4%	みかん	69.1%	キウイフルーツ	64.8%
50代	19.9%	80.1%	バナナ	76.4%	りんご	73.1%	みかん	70.4%	いちご	69.8%	ぶどう	60.1%
60代	10.4%	89.6%	バナナ	89.7%	りんご	82.2%	いちご	80.1%	みかん	79.8%	キウイフルーツ	70.2%
70代	6.0%	94.0%	バナナ	94.2%	りんご	88.8%	みかん	86.4%	いちご	84.2%	ぶどう	78.8%

Ⅲ. 最近1年間で購入した果物(家庭用、子どもとの同居有無別)

- ・最近1年間で購入した果物(家庭用)について、子ども(令和5年1月1日時点で18歳未満)との同居有無でみると、子どもと同居している世帯は、「いちご」と「キウイフルーツ」の購入率が子どもと同居していない世帯と比較して10ポイント以上高くなった。
- ・一方で、子どもと同居していない世帯では、「桃」「柿」「その他柑橘類」「メロン」「マンゴー」の購入率が子どもと同居している世帯よりも高くなった。

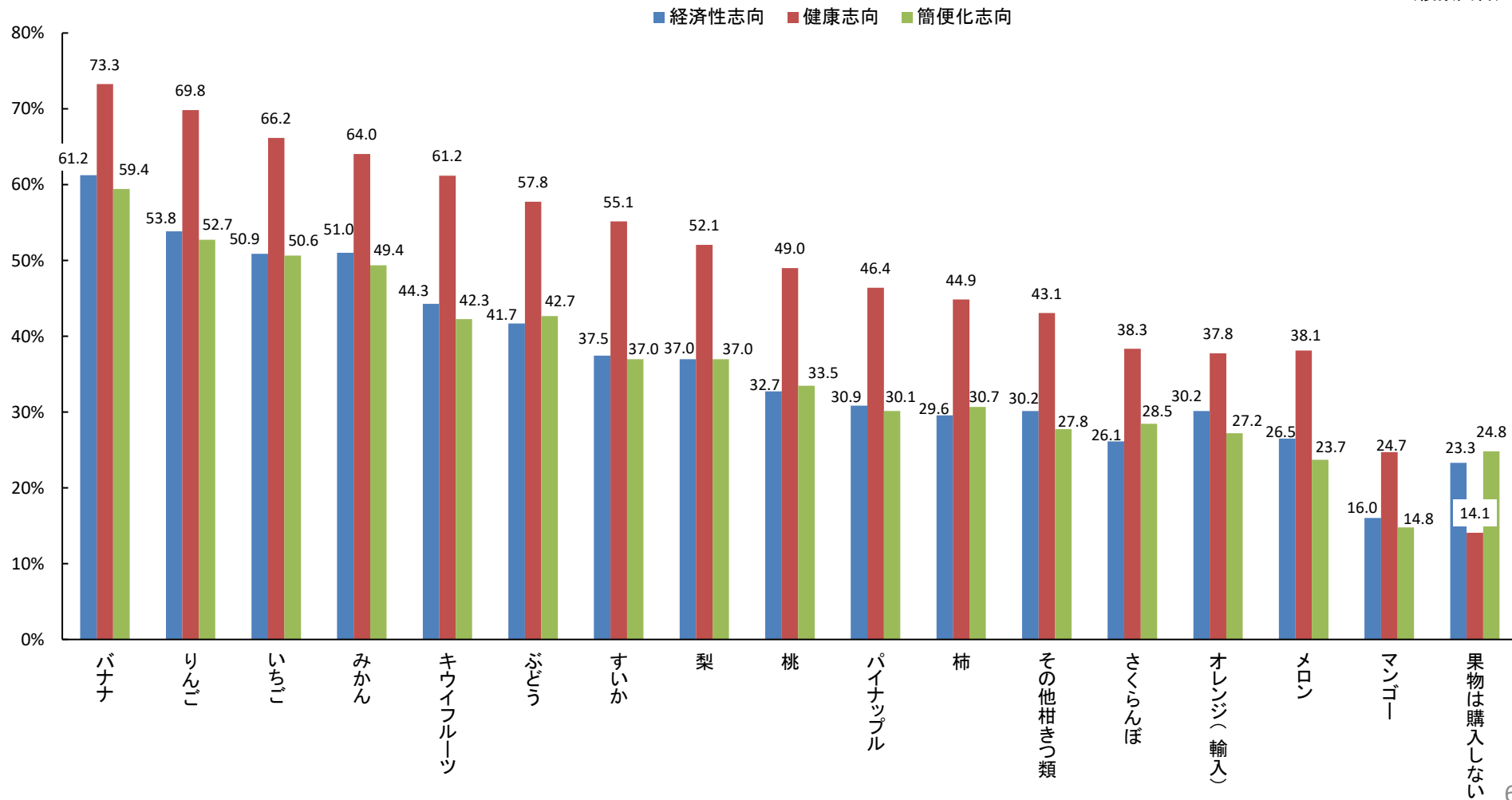
(複数回答)



IV. 最近1年間で購入した果物(家庭用、3大志向別)

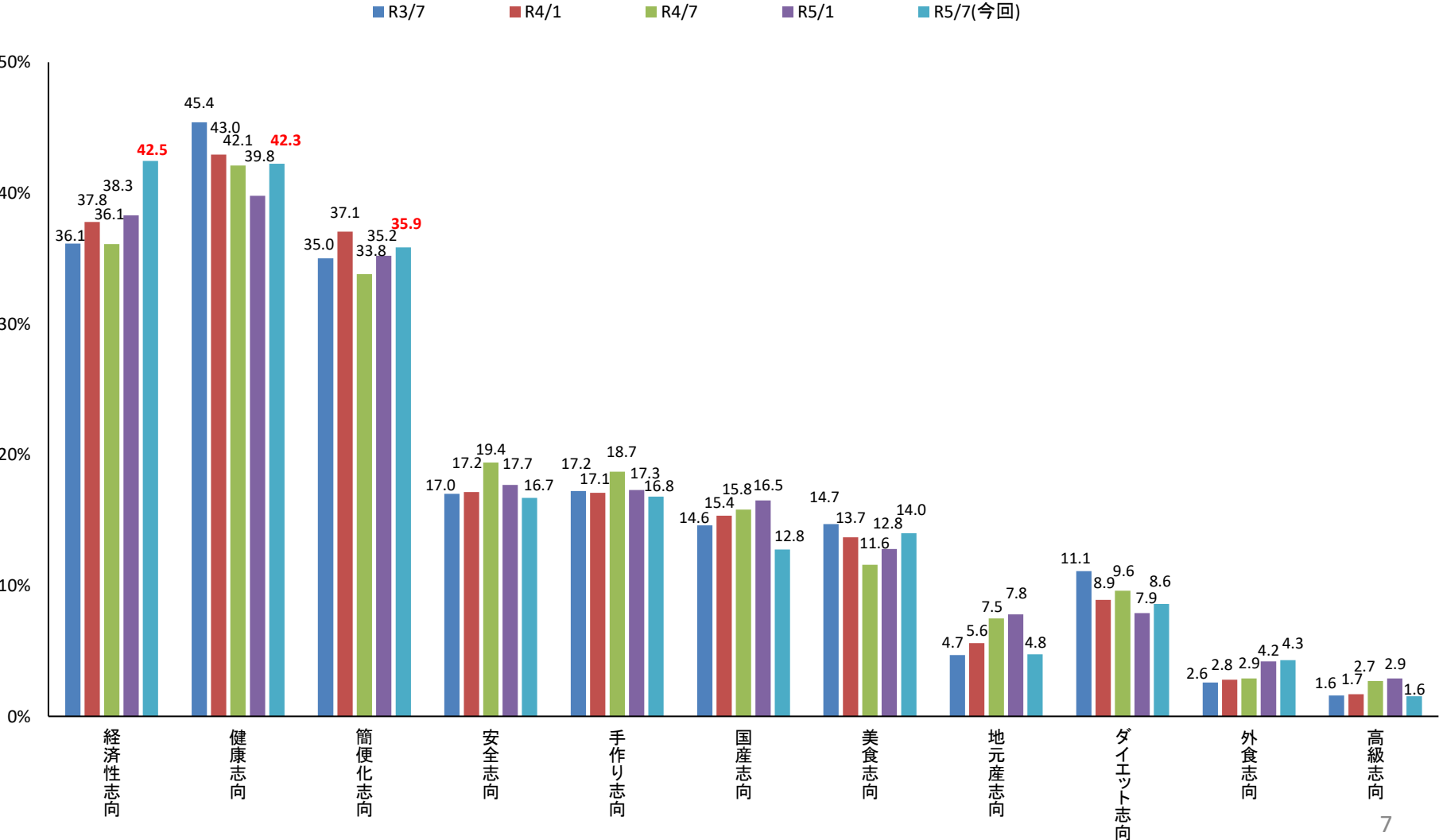
- ・最近1年間で購入した果物(家庭用)について食の3大志向別(通常設問である「食の志向」についての調査で上位3項目となる「経済性志向」「健康志向」「簡便化志向」と回答した者)で分析したところ、「購入した」と回答した割合はすべての果物について「健康志向」の回答者が最も高くなった。
- ・「果物は購入しない」との回答割合は「簡便化志向」(24.8%)の回答者が最も高く、「健康志向」(14.1%)の回答者が最も低くなった。

(複数回答)



参考：食に関する志向

・「食に関する志向」の調査では、「経済性志向」「健康志向」「簡便化志向」が3大志向となっている。
 ・詳細は、2023年9月14日付ニュースリリース「食に関する志向 物価上昇から「経済性志向」が13年ぶり 40%超え < 消費者動向調査(令和5年7月調査)>」に掲載。 URL: https://www.jfc.go.jp/n/release/pdf/topics_230914a.pdf



V. 果物を購入した理由(家庭用)

- ・家庭用に購入した果物について、その果物を購入した理由を尋ねたところ、「美味しい」「手ごろな価格」「季節感や旬を楽しめる」などが上位となった。
- ・最も購入率の高かった「バナナ」は、「手頃な価格」をはじめ5つの購入理由で最も上位となった。
- ・「メロン」や「マンゴー」は、「高級感がある」という購入理由別では他の果物よりも高くなった。

(n=2,000、複数回答)

	美味しい		手頃な価格		季節感や旬を楽しめる		国産が多い	
第1位	いちご	37.6	バナナ	37.2	すいか	22.7	りんご	16.8
第2位	りんご	32.8	りんご	24.9	いちご	21.4	みかん	15.1
第3位	みかん	32.7	みかん	24.1	ぶどう	19.7	いちご	13.0
第4位	ぶどう	30.9	キウイフルーツ	18.8	梨	18.9	梨	11.1
第5位	バナナ	30.6	オレンジ(輸入)	12.4	みかん	18.6	桃	10.1
	年間を通して販売されている		食べ慣れている		食べやすい		健康に良い	
第1位	バナナ	13.9	バナナ	13.7	バナナ	13.4	バナナ	13.2
第2位	キウイフルーツ	6.5	りんご	12.4	みかん	12.0	みかん	12.8
第3位	りんご	4.5	みかん	8.0	いちご	8.6	りんご	12.4
第4位	パイナップル	3.7	いちご	7.6	りんご	8.0	キウイフルーツ	10.6
第5位	オレンジ(輸入)	3.1	キウイフルーツ	7.1	キウイフルーツ	6.2	いちご	5.0
	日持ちがする		高級感がある		見た目が良い		好きな品種・ブランドがある	
第1位	りんご	8.3	メロン	7.2	いちご	6.2	ぶどう	5.8
第2位	みかん	5.2	マンゴー	5.5	桃	3.5	りんご	4.5
第3位	バナナ	3.4	桃	4.0	りんご	3.4	いちご	4.3
第4位	キウイフルーツ	3.0	さくらんぼ	3.6	さくらんぼ	3.2	梨	3.4
第5位	オレンジ(輸入)	2.6	ぶどう	3.1	メロン	3.0	みかん	2.7

VI. 最近1年間で購入した果物(贈答用、年代別)

- ・最近1年間で購入した果物(贈答用)について年代別にみると、「購入した」とする割合は50代以下は20%台であるのに対し、60代以上は40%以上と開きがあった。
- ・「購入あり」と回答した中でどの果物を購入したかについては、20代を除くすべての年代で「メロン」が最も高くなった。20代は「ぶどう」が最も高くなった。

(複数回答)

年代	購入なし	購入あり	1位		2位		3位		4位		5位	
全体	67.9%	32.2%	メロン	34.1%	さくらんぼ	24.9%	ぶどう	24.4%	桃	21.6%	りんご	19.0%
20代	77.7%	22.3%	ぶどう	27.4%	さくらんぼ メロン	24.2%			みかん	22.6%	りんご いちご 桃	19.4%
30代	75.6%	24.4%	メロン	25.0%	桃 さくらんぼ	22.2%			ぶどう いちご	20.8%		
40代	71.7%	28.3%	メロン	29.2%	りんご	24.5%	ぶどう さくらんぼ マンゴー	23.6%				
50代	73.9%	26.1%	メロン	36.7%	さくらんぼ	25.5%	いちご	21.4%	桃 マンゴー	18.4%		
60代	58.6%	41.4%	メロン	40.7%	ぶどう	28.9%	さくらんぼ	26.7%	桃	25.9%	いちご	23.0%
70代	51.6%	48.4%	メロン	37.6%	ぶどう	25.9%	さくらんぼ	25.3%	桃	20.6%	りんご	20.0%

VII. 最近1年間で購入した果物(贈答用、地域別)

・最近1年間で購入した果物(贈答用)について回答者の居住する地域別にみると、北海道の「メロン」(18.5%)、東北の「さくらんぼ」(13.2%)「りんご」(17.6%)、九州・沖縄の「マンゴー」(10.2%)、中国の「梨」(9.6%)、四国の「みかん」(8.9%)など、その地域の特産である果物の購入率が高い傾向となった。

(n=2,000、複数回答)

